

調査件名 _____ 試験年月日 _____

試料番号 (深さ) _____ 試験者 _____

供試体 No.		試料の状態 ¹⁾	
試験条件	セル圧 σ_r kN/m ²	供試体の作製方法 ²⁾	
	間隙空気圧 u_a ³⁾ kN/m ²	土質名称	
	基底応力 $\sigma_{r_{net}}$ kN/m ²	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	
試験前	直径 D_0 cm	セラミックディスクの空気侵入圧 kN/m ²	
	高さ H_0 cm	圧密後	排水量 ΔV_{wc} cm ³
	体積 V_0 cm ³		体積 V_c cm ³
	質量 m_0 g		高さ H_c cm
	含水比 w_0 %		断面積 A_c cm ²
	間隙比 e_0		含水比 w_c %
	飽和度 S_{r0} %		間隙比 e_c
	初期サクシオン s_0 kN/m ²		飽和度 S_{rc} %
			上部フィルターの種類
		湿潤質量 g	
		含水比 %	
		平均含水比 %	
		乾燥質量 m_s g	
圧密過程	載荷段階数 n		
	セル圧 σ_r kN/m ²		
	間隙空気圧 u_a ³⁾ kN/m ²		
	基底応力 $\sigma_{r_{net}}$ kN/m ²		
	体積変化量 ΔV_t cm ³		
	体積 V_t cm ³		
	軸変位量 ΔH_t cm		
	高さ H_t cm		
	排水量 ΔV_{wt} cm ³		
	含水比 w_t %		
間隙比 e_t			
飽和度 S_{rt} %			

段階載荷時の応力径路 (間隙空気圧-セル圧関係, またはサクシオン- $\sigma_{r_{net}}$ 関係)⁵⁾

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 間隙空気圧の大きさは, 供試体に与えるサクシオンの大きさに等しい。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) $\sigma_{r_{net}}$, サクシオンを変化させる段階載荷を行った場合には, 必要に応じてそれぞれ各段階終了時の w_t, e_t, S_{rt} と $\sigma_{r_{net}}$ の関係, w_t, e_t, S_{rt} とサクシオンの関係を貼付する。

[1 kN/m² ≒ 0.0102 kgf/cm²]